

初期臨床研修制度の評価のあり方に関する研究について

(平成21年度 厚生労働科学特別研究事業)

○主任研究者

桐野 高明 (国立国際医療センター総長)

○概要:

本研究は、医師の臨床研修制度に対するさまざまな指摘を踏まえつつ、臨床研修制度全体について客観的に評価する方法を確立することが目的である。

医師臨床研修制度については、平成16年度に新たな制度が導入された後、現行の基準による研修プログラムが研修医の将来のキャリア形成の妨げとなっていること、また、新制度の導入により大学病院の医師派遣機能が低下し、医師不足問題が顕在化するきっかけとなったことなどの問題が指摘されている。厚生労働省では、このような指摘を受け、より質の高い医師を効果的に養成する観点などから、研修プログラムの基準の弾力化、臨床研修病院の指定基準の強化などの見直しを行い、平成21年4月に関連する省令の改正等を行った。

本研究では、このような制度の見直しの結果、研修医の診療能力の向上や地域医療の確保にどのような効果、影響があったか、研修の具体的内容、研修医の到達度等について、客観的なデータに基づき評価する方法を確立するものであり、5年後に行われる予定である制度の見直しに大きく寄与することが期待される。

○研究の主な内容

- ① 臨床研修制度の客観的な評価のあり方について検討 (評価の方法、評価に必要な情報、評価の結果を制度評価に活かす方法)
- ② そのための評価の手法を確立 (調査方法や調査する項目を決定)
- ③ 今年度行われている現行の研修制度の評価を実施 (①②において、対象者の検討、調査内容の検討を行い、評価を試行し、改訂)

○分担研究者

- | | |
|--------|----------------------|
| ・大滝 純司 | 東京医科大学病院総合診療科教授 |
| ・小川 彰 | 岩手医科大学学長 |
| ・北村 聖 | 東京大学医学教育国際協力研究センター教授 |
| ・斎藤 宣彦 | 日本歯科大学附属病院内科教授 |
| ・西澤 寛俊 | 特別医療法人恵和会西岡病院理事長 |
| ・福井 次矢 | 聖路加国際病院院長 |
| ・山下 英俊 | 山形大学医学部附属病院院長 |